



みんなでつなごう！支えあいの輪！
～生活支援コーディネーター通信～



第 18 号
令和 4 年 12 月発行

高崎市生活支援
コーディネーター
通信

めざせ！ワンハート



みなさまへ

年の瀬で、何かと気ぜわしい日が続いておりますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

10月の第2層協議体情報交換会の内容が各協議体で共有され、少しずつ活動が活発化し、他地区との情報交換を企画する地区や住民があんしんセンターと一緒に他の協議体や居場所等に見学に行く地区も増えています。これからもお互いの地区で情報交換し少しずつ支えあいの輪を広げていきましょう。

今年も大変お世話になりました。来年もお互い様で支え合う地域を目指し、みなさんと頑張っていきましょう。

10・11月の第1層協議体の話し合いの内容



10月

<住民企画会議>

- ① 協議体活動の周知方法検討
新聞・メディア等の活用
- ② 情報交換会の必要性について
実践者の声を聞く→実感する→活動につなげる

<事業推進会議>

- オンラインで他市町村事例勉強会
- ① 栃木県大田原市事例 第1層 SC より
→川西地区見守り隊の活動
 - ② 大阪府岬町事例
→住民主体で取り組む支え合いのある地域づくり

11月

<住民企画会議>

- ① 地域で活動している組織との連携の強化
 - ② 情報交換（小グループでの意見交換・他地域の見学）
 - ③ 第2層協議体情報交換会の資料閲覧ができる場づくり
 - ④ 周知活動の継続（メディア・新聞などの活用）
 - ⑤ 協議体活動に若い世代を巻き込む仕組みづくり
- 「できないこと探しからできること探しへ」**

<事業推進会議>

- ・第2層情報交換会の振り返り
グループ意見交換と情報共有
「苦労話が共有できてよかった」
「底上げになり、実践につながる」
「地域に合ったできる活動を検討したい」

第1層生活支援コーディネーターよりお願い



生活支援コーディネーター通信は、市内外の協議体の取り組みや様々な助け合い活動を紹介したいと思っております。市内の活動で掲載して欲しい活動があればコーディネーターまでご連絡ください。その他、ご意見、ご感想もお寄せください。お待ちしております。また、**「新しく支え合い活動を立ち上げたい」**、**「既存の活動を今後どうしていけばよいのか困っている」** そうしたみなさんからの相談も第1層生活支援コーディネーターまでお気軽にお声がけください。

第2層協議体情報交換会を開催



倉淵地区
くらしくらぶ
原田さん

佐野地区
佐野たすけあい隊
生方さん



資料展示の様子



第2層協議体情報交換会を3年ぶりに開催することができました。

今回は、「コロナ禍で生まれた支え合い活動」というテーマでパネルディスカッションを行いました。倉淵地区の有償ボランティア「くらしくらぶ」の原田さん、佐野地区の有償ボランティア「佐野たすけあい隊」の生方さんにご登壇いただきました。第1層S Cと対話形式で進行し、助け合い活動発足に至るまでの経緯や活動の様子についてお話いただき、会場参加者から質問に答えました。

また、資料展示にもたくさんの協議体メンバーが情報収集にいらっしやいました。

情報交換会の目的

アイデアやヒント
を持ち帰って
自分の地域に
活かしていこう！

自分の地域で
できることは
ないだろうか

地域に合った
活動を
考えよう！



協議体

生活支援に
つながるまでの
プロセスがわかった

実際の活動の話が
聞けてとても参考に
なった

地域性を踏まえて
できることを考えたい

担い手を増やす
ことが重要だ
と感じた

第2層協議体情報交換会参加者の声

区長さんとの連携
の大切さを感じた

横のつながりの
大切さを感じた

自分の地域でも
ぜひ挑戦したい

「無理なく」「楽しく」
「マッチング」「ニーズ調査」
基本が大切だと思った

「高崎ふれあいの広場」にて第1層協議体周知活動



第1層協議体では、市民に「協議体活動」について知っていただくことを目的に、10月29日の「高崎ふれあいの広場」にて、以下の周知活動を行いました。

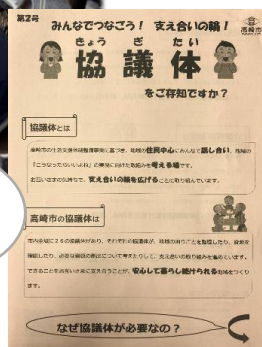
- ① 来場者への協議体周知チラシの配布
- ② ブースにて協議体活動について説明
・アンケート実施
- ③ 活動紹介のポスター展示

第2層協議体住民メンバー、あんしんセンターのご協力もあり、たくさんの来場者へ周知を行うことができました。アンケートには53名の方から回答をいただき、「協議体の活動に関心がある」「助け合い活動に協力したい」という意見も多数寄せられました。今後も第1層協議体では周知活動に取り組みます。

周知活動に
ぜひご活用
ください



第1層協議体作成チラシ →



南八幡地区

既存資源「おとしよりぐるりんタクシー」を活用した居場所づくり

居場所
「よってって」

毎月第1火曜日
南八幡ふれあい館
で継続的に開催



ぐるりんタクシー
と連携できないかな



協議体

コース上の個人宅や
南八幡ふれあい館を
会場に開催しよう！

既存資源の活用

居場所づくり

南八幡ふれあい館



会場に
のぼりを
立てました

メンバー宅で



メンバー宅のお庭で

<「回遊ぐるりんお宅カフェよってって」のポイント>

① ぐるりんタクシーのコース
上の3か所を会場として

南八幡
ふれあい館 + 協議体メンバー
個人宅2軒

② できることからやってみる

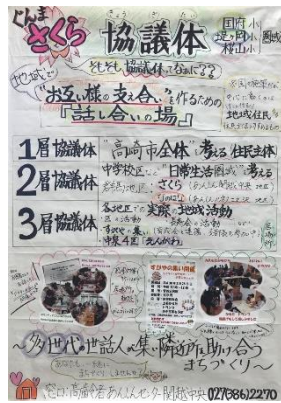
- ・時間を区切り開催（13-16時）
- ・運営メンバーも楽しむ
- ・冬は実施せず、春に第2回目を検討中

南八幡地区では、既存資源のおとしよりぐるりんタクシーを活用し、さらに居場所を増やしていこうと議論を重ねてきました。まずは、できることからやってみよう、10月22日に南八幡ふれあい館に協議体住民メンバー個人宅2軒を加え3か所を会場に「回遊ぐるりんお宅カフェよってって」を開催しました。居場所となる個人宅前へのぼりを立て、回覧板で開催の案内をしました。当日は久しぶりに再会する場面が生まれたり、自宅の近くが会場となったことをきっかけに徒歩で参加した方がいたり、おとしよりぐるりんタクシーを使い3か所をはしごする方もいたり、居場所に集う人の輪が広がっています。「無理なく、楽しみながら活動をする」をモットーに、次回は春の開催を検討中です。

群馬地区 (なのはな)

群馬地区 (さくら)

「福祉ふれあい祭り」で協議体活動の周知



地域で開催される
お祭りを活用し、
協議体について
地域の皆さんに
知ってもらおう！

10月15日に群馬福祉会館にて「福祉ふれあいまつり」が2年ぶりに開催されました。

群馬なのはな協議体と群馬さくら協議体では、協議体の協力者や担い手を増やすことを目的に、協議体メンバーがチラシの配布やパネル展示、来場者へ協議体活動についての説明を行いました。



担い手養成の取り組み

倉賀野地区

地域支え合いサポーター交流会を開催

地域支え合いサポーター
交流会を開催してみよう

仲間の連携



協議体



倉賀野まつり延期
周知活動できず



仲間探し

支え合いサポーター
と協議体メンバーで
地域課題を共有



協議体



今後の活動に
活かそう！



倉賀野地区協議体では、地域支え合いサポーターの連携を深めることを目的に交流会を開催しました。交流会では、「事業理解のための勉強会」と「『できること探し』をし、今後のサポーターの活動に活かすことを目的としたワークショップ」を行いました。この企画を通して、協議体住民メンバーとサポーター間で話ができ、地域の現状について共通認識を持つことができました。また、6名の区長さんが交流会に参加したことで、協議体の活動内容について理解を得ていただける良いきっかけとなりました。

改めて支え合い
の必要性を
確認しよう

八幡地区

地域支え合いサポーター フォローアップ講座



ニーズ調査の
結果をサポーター
と共有しよう！

協議体



どんな活動なら
できるだろうか…

できることに
取り組んでいこう



フォローアップ講座プログラム

八幡地区協議体では、コロナ禍により、地域支え合いサポーター同士の交流ができない状況が続いていました。そこで、仲間づくりやつながりづくりを目的に「地域支え合いサポーターフォローアップ講座」を開催しました。支え合いの必要性について再確認し、協議体で行ったアンケートから得られた地域ニーズと今後の活動とのマッチングを行いました。サポーター同士の思いの共有もでき、今後の活動に活かせそうです。

- ①やわた七転八起の会（協議体）の説明
- ②第2層協議体メンバーより協議体会議の様子を紹介
- ③協議体で取り組んだ活動報告
- ④サポーターの事例紹介（居場所・見守り・助け合い）
- ⑤サポーターインタビュー（実際の活動の様子や感想）
- ⑥支え合いの必要性について講義
- ⑦グループワーク（ニーズ調査の共有とできること探し）

発行元：高崎市第1層生活支援コーディネーター
連絡先：☎：027-321-1319（高崎市長寿社会課）

高崎市 HP「お互い様で支え合う地域づくり（生活支援体制整備事業）」
<https://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2019011800019/>

